

三風の会

C-04-17

KOAのふるさと、信州 伊那谷は、南アルプスと中央アルプスに抱かれた美しい場所です。また、昔からこの地に住んだ人たちが織りなしてきた暮らしと文化があります。それらがかたちづくる伊那谷の「風土」「風景」「風格」を大切に守り伝えていくために生まれたのが「三風の会」です。
ふるさと伊那谷への誇りと、さらに次の世代に継承してほしいという願いに結ばれた皆様とともに活動しています。

sanpu no kai

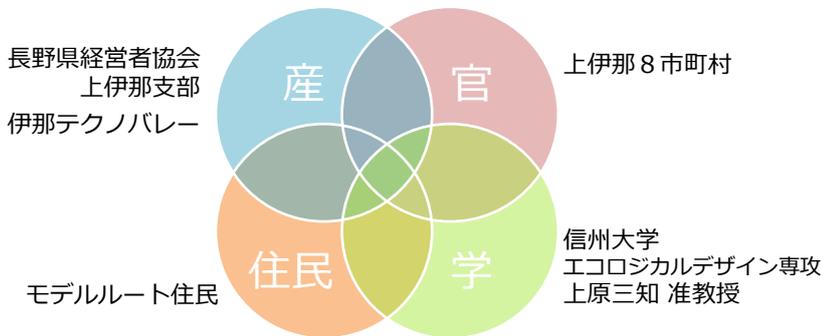
三風の会

オフィシャルホームページ

www.inadani3pu.org

「三風の会」の構成

三風の会は上伊那の産官学に住民も加わったチームで活動しています。



南アルプスを望む牧草地



飯田線の横に広がる赤そば畑

伊那西部広域農道をモデルライン「伊那谷風土記街道」と設定

伊那谷風土記街道（伊那西部広域農道・伊那中部広域農道・県道飯島飯田線）には、未来に残していきたいビューポイントがたくさんあります。風景を阻害するサイン（看板）の見直しを進め、必要なサインについては、三風モデルのデザインマニュアルに沿ったものへの統一をめざしています。

Before

看板更新前



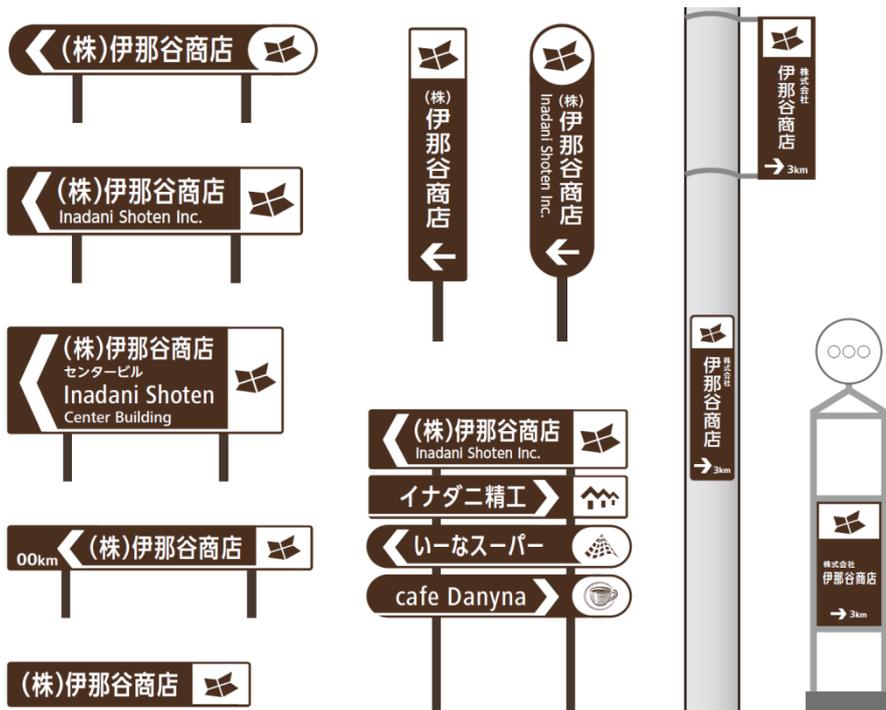
After

看板更新後



三風モデル看板（サイン）

アルプスの山並みや周辺の風景とできるだけ調和した統一デザインの採用をお願いしていくために、デザインマニュアルを作成し、その普及を推進しています。



ばらばらのデザインだった従来の看板を三風モデル看板に統一

● 三風デザインの考え方

伊那谷の景観に寄与したサイン

すでに形成された独自の景観を阻害しない色・形状であること。地域の景観に配慮した主張しすぎない、シンプルで品格あるデザインとします。また、時間の経過に対応した、質の高い、飽きのこないデザインを目指します。

「伊那谷らしさ」はすでに地域各地で形成されていますので、サインのデザインは、目立ちすぎてデザイン的に主張することのないようにします。

不要な装飾の排除

だれもが理解できるデザインを目指し、サインの表示面で使用する文字の書体、使用する色、大きさ、内容等について、機能的で無駄の無い内容とし、あくまで地域の「脇役」である事に留意して整備します。

環境負荷のかかりにくいサイン

サインは屋外に設置されるため、本体や表示面には耐久性のある材質を使用するなど維持管理の容易さを考慮します。なお、安全性・景観への配慮・経済合理性等も含めた総合的な視点から検討を行ったうえで使用材料を決定するものとします。

デザインの統一性

連続した案内となるよう、デザインの統一性を確保すること。ユニバーサル・デザインの観点から、サインの標記内容については、極力統一した表現とする必要があります。字体や図形等の表現方法を統一することは、利用者にわかりやすいだけでなく、地域全体のサインに統一感を持たせることができます。

伊那谷ブラウン

美しい広域農道沿いの風景を守るため、サインの色は、四季折々の豊かな自然に溢れる美しい伊那谷の景色と調和するよう、彩度・明度を抑えた茶色を地色として使用します。

茶色は土・大地の象徴で、万物を生成する土性の色です。木や土、大地といった自然を感じさせる茶色は温もりや居心地の良さといった安心感があり、空間の中に馴染み調和します。茶色は温暖色、重量色のイメージ効果を持ち、安定して、どっしりとした「伊那谷の大地」「瑞々しい木々」を連想させ「地域の豊さ」を表します。

また、季節や時代にかかわらず常にそこにある「不変の価値」を表します。「長く安定した価値」というイメージを持つ茶色は、ブランドのカラーとしても多く使われています。